

## 第8回宇宙活動法の見直しに関する小委員会

1 日 時 令和7年1月29日（水） 13:00～13:15

2 場 所 内閣府宇宙開発戦略推進事務局 大会議室

### 3 出席者

#### (1) 委員

小塚座長、中須賀委員（座長代理）、青木委員、石井委員、木村委員、久保田委員、  
笹岡委員、佐藤委員（オンライン出席）、白井委員、新谷委員（オンライン出席）、  
原田委員、松尾委員（オンライン出席）

#### (2) 事務局（宇宙開発戦略推進事務局）

風木局長、渡邊審議官、木尾参事官、山口参事官、村山参事官、北小路参事官補佐、  
大段参事官補佐

#### (3) 関係省庁等

文部科学省研究開発局宇宙開発利用課	木元課長補佐
経済産業省製造産業局宇宙産業課	岩永課長補佐
国土交通省航空局ネットワーク部航空戦略室	清水総括課長補佐
総務省国際戦略局宇宙通信政策課	扇課長（オンライン出席）
外務省総合外交政策局宇宙・海洋安全保障政策室	麻生外交実務研究員 （オンライン出席）
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 安全・信頼性推進部	吉原ユニット長

### 4 議 題

- (1) 宇宙活動法の見直しの基本的方向性（中間とりまとめ）案について
- (2) 質疑応答・意見交換
- (3) その他

○大段補佐 それでは、定刻となりましたので「宇宙政策委員会 基本政策部会 宇宙活動法の見直しに関する小委員会」の第8回会合を開催いたします。

委員の皆様におかれましては、先週に引き続きまして、お忙しいところ御参集いただきまして、誠にありがとうございます。

本日、佐藤委員、新谷委員、松尾委員はオンラインでの御出席となっております。

それでは、ここからは座長に議事進行をお願いできればと存じます。

○小塚座長 ありがとうございます。

皆様、お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。

本日は、いよいよ「宇宙活動法の見直しの基本的方向性（中間とりまとめ）案」について、この小委員会として取りまとめをしていきたいと考えております。

前回御議論いただきまして、いろいろと御指摘がありました。

事務局が御指導いただいた委員の方々は多数いらっしゃると思います。お忙しい中、大変お手数をおかけしまして、ありがとうございます。

そのようなことで、事務局側で修正していただきまして、本日の資料に「中間とりまとめ（案）」が入っております。

では、それについて、事務局から説明をお願いします。

○大段補佐 ありがとうございます。

前回、先週20日に先生方から御指摘いただいたことを踏まえまして「中間とりまとめ（案）」を更新させていただきました。

お手元に資料1として、それを反映してクリーンにしたバージョンと、机上配付として、前回、第7回にお示したのものからの修正履歴が分かる資料として、見え消し版を配付させていただいております。

あと、概要資料として、あくまで参考資料でございますが、中間取りまとめの概要について記載した資料をお手元にお配りしております。

机上配付資料で、前回御指摘いただいたところは、主に宇宙条約の第6条の御指摘と有人のところについて御指摘がございましたので、そこにつきまして、御指摘いただいた先生方とコミュニケーションを取らせていただきつつ、修正させていただきました。先生方、お忙しいところ、短期間で御協力いただきまして、誠にありがとうございました。

更新の概要としては以上となっております。

○小塚座長 ありがとうございました。

それでは、この「中間とりまとめ（案）」について「質疑応答・意見交換」に進みたいと思います。

御覧いただきまして、先生方からさらに御指摘とか御質問、あるいはこれを前にして、ここまで議論してきた御感想といえますか、そのような御発言がありましたら、ぜひお願いしたいと思います。

会場の方は挙手で、オンラインの方は事務局にシステム上でお知らせください。

いかがでしょうか。

特に前回御発言いただきました皆様方、御趣旨がきちんと反映されていますでしょうか。

いかがでしょう。どなたからでも。

では、石井先生、お願いします。

○石井委員 前回、特に6条のところと有人飛行について発言させていただきましたが、頂いた修正案につきまして、私から異存はございませんということを申し上げたいと思います。

○小塚座長 ありがとうございます。

いろいろと重要な御指摘をいただきまして、事務局で受け止めさせていただきましたが、御趣旨がかなっているということで、ありがとうございます。

そのほかの先生方もいかがでしょうか。

特に前回御発言いただいた先生には、その趣旨が反映されているかどうか、あるいは前は気がつかなかったけれども、今見直すと、こういうところに気がついたというような御発言でも結構ですし、いかがでしょうか。

笹岡先生、お願いします。

○笹岡委員 前は、主に有人と再使用型ロケットのところで発言させていただきました。

趣旨を取り入れていただいて、適切に修文していただいていると思います。

ありがとうございました。

○小塚座長 どうもありがとうございました。

そのほかにもいかがでしょうか。

オンラインから新谷先生、よろしくをお願いします。

○新谷委員 ありがとうございます。

私のほうでは、有人宇宙飛行の審査基準について、それから、事前の打合せでは、軌道上の損害についてお話し申し上げまして、いずれも適切に修正いただいたと理解しております。

許認可の手続きを英語でできるようにとか、オンラインでもできるようにともご提案申し上げましたが、今回の取りまとめに載っていないことについても御説明を受けており、異存ございません。

また、スペースサステナビリティの点は、デューデリジェンスも含め、取りまとめに載ってはいないのですが、引き続き御検討いただけると書いていただいていますので、全てにおいて異存ないと申し上げたいと思います。

以上です。

ありがとうございます。

○小塚座長 ありがとうございました。

先生方からいろいろと御教示いただいたので、よい中間取りまとめになってきたと思います。

そのほか、何か御発言等がありますか。お気づきの点、あるいはこの中間取りまとめに対する感想や期待とか、何かありましたら、そういうことでも結構ですが、いかがでしょうか。

久保田先生、お願いします。

○久保田委員 特に修正というわけではないのですが、冒頭の「宇宙活動をめぐる状況」というところで、アメリカは153回、中国は66回の人工衛星搭載ロケットを打ち上げて、日本が5回と非常に衝撃的な数字なのですが、質問として、例えば2024年が特異で、それまではそうでなかったということかという質問も出るかなと思って、多分、そんなに変わらないのだと思うのですが、そういう質問が出るかなとちょっと気になった。

別に2024年が特別ではなくて、桁が違うぐらい違っているのですよということだと思いうのですが、これを読んだ人がびっくりするかなという印象を持ったということでございます。特に修正をするというわけではなくて、そういう質問が出るかなと思いました。

○小塚座長 事務局で何か事実を把握しておられますか。

山口さん、お願いします。

○山口参事官 ありがとうございます。

これは、宇宙事務局独自でデータを取っておりまして、2023年、2022年も含めて経年変化を見ると、ここだけすごく増えているわけではなくて、リニアにというか、等比級数的に打上げ回数が伸びています。

スペースXのファルコン9がすごく、昨年度は、数字はすぐに出てこないのですが、3桁の打上げがあるということだけお伝えしたいと思います。

○久保田委員 承知はしているのですが、そういう質問が出るかなと、ちょっと気になったので、質問しました。

○山口参事官 ありがとうございます。

○小塚座長 ありがとうございます。

確かに、ある年度だけ特異な数字であるとすると、それを挙げるのはどうかということが出てきますが、こういう状況になってきたのは、ここ数年ですね。

ということですので、この記述でよろしいかと思えます。

そのほかにもいかがでしょうか。

中須賀先生、お願いします。

○中須賀座長代理 内容は非常によくまとまっていて、重要な議論をしたところが反映されているので、特に何の問題もありません。

最後に書いていただいたところは、私が前々回ぐらいに申し上げたところかと思うのですが、要は、体制ですね。

これがすごく大事で、結局、いい法律をつくっても、それをちゃんと回さなければ、ずれてきたりすることもあるので、まず、それに対応できる人をしっかりと充てていかなければいけないということで、私は特にこの点を強くお願いしたいと思えますので、よろし

くお願いいたします。

○小塚座長 ありがとうございます。

先生の御指摘がありましたので、きちんとここに書き込むことができまして、このような形で文字に残れば、事務局に対してもこれで一つの政策指針になっていくと思います。

ありがとうございます。

そのほかに御意見等がありますか。

オンラインのほうから何か来ていますか。どなたかいらっしゃいますか。

今は大丈夫ですか。

○事務局 はい。今は大丈夫です。

○小塚座長 ありがとうございます。

私も、この中間取りまとめを改めて見せていただいて、この半年ぐらい、いろいろと議論してきたなと改めて思っていたところです。

ここは宇宙活動法の見直しに関わる小委員会ですので、法制度に関わる専門的なことを議論させていただきました。

当然、その背後には日本の宇宙政策があるわけですが、政策を決めたり、執行していくのは、もちろん、この小委員会のマンデートではないわけです。

ただ、日本が今推進しようとしている、あるいは推進する必要があると思われる政策について、それを少なくとも阻害しない、できれば促進していくような制度としては、こういうものなのではないか、そして、そのために考えるべき論点はこういうことだというあたりを明らかにすることができたかと考えております。

記述の中で、こうすべきだというような最終的な政府の委員会等の取りまとめは、ほとんど法案になるような内容になることもあります。これはまだ中間取りまとめですので、そういうことでは必ずしもありませんが、制度をつくっていく上で、どういう問題を考える必要があるかということは正しく認識して、反映することができているかと考えている次第です。

何とかつないでいるうちに、ちょうど原田先生がいらっしゃったのですが、お気づきの点、あるいは御指摘や御質問とかが、あるいはこれを前にした御感想とか、何かありますか。

○原田委員 原田でございます。

前の会議が遅くなりまして、失礼いたしました。

今回の取りまとめ案は大変包括的で、しかも、論点についても大変丁寧にまとめられていると思います。

これから法制化する上で、非常に難しい点がまだ残っているとは思いますが、現時点で大変適切な取りまとめがされているものと考えております。

以上です。

○小塚座長 ありがとうございました。

それでは、特にこれ以上御意見がないということでしたら、この「見直しの基本的方向性（中間とりまとめ）案」について、本小委員会としては御同意をいただいたと受け取らせていただきたいと思います。

よろしいでしょうか。

（首肯する委員あり）

○小塚座長 ありがとうございます。

それでは、そのように理解させていただきます。

それで、今後どうしていくかということ、私からお話しさせていただきたいと思いません。

まず、この案ですが、事務局において何度も確認はしていただいておりますが、そうはいっても、点の打ち間違いとか、そのようなものがないとは限りませんので、そういう軽微な修正につきまして、もし万が一出てきたら、私の責任で処理するということの御一任をいただきたいと思います。

お願いいたします。

（首肯する委員あり）

○小塚座長 次に、その前提でということですが、これを宇宙政策委員会において、私から報告をさせていただきたいと思いません。

3月頃に予定されていると承知しております。

そして、宇宙政策委員会において、特段の御意見がなければ、そこで最終的な確定ということにさせていただき、その段階で案が取れるということにさせていただきたいと思いません。

ここに至るにつきましては、委員の先生方に大変いろいろな貴重な御指摘をいただきまして、また、委員会の時間外にもいろいろな形で御指導を頂戴しました。このことにつきまして、座長としても改めて御礼申し上げたいと思いません。ありがとうございました。

それでは、事務局から用意した議題は以上です。

委員の皆様から議題、あるいはその他御提案、あるいは御発言等がありますか。

よろしいですか。

それから、関係各省から何かありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、本小委員会は、ひとまず中間取りまとめができたということで、風木局長に御挨拶いただきたいと思います。

よろしくお願いいたします。

○風木局長 ありがとうございます。

本小委員会は、今回閉会に当たり、一言御挨拶させていただきます。

昨年9月に、宇宙政策委員会で本小委員会が設置されて以来、8回にわたり、委員の方々には大変精力的に御審議いただきまして、誠にありがとうございます。まずはお礼で

ございます。

そして、関係省庁、JAXA、事業者の方々にも大変精力的にコメントをいただく、あるいは意見交換に参加していただく形でまとめに加わっていただきまして、誠にありがとうございました。

今、座長からございましたとおり、今後、3月頃に予定されております宇宙政策委員会に、小塚座長から御報告いただき、そこでの意見を経て、最終的にこれを確定させるというプロセスに進みますので、事務局としてもそこをしっかりと進めてまいりたいと思います。

その上で、その先につきましても、この提言をしっかりと生かした形で、次のステップにしっかりと進んでいくことを考えておりますので、今後もぜひ御指導のほど、どうぞよろしくお願いしたいと思っています。

私からは以上です。

ありがとうございました。

○小塚座長 どうもありがとうございました。

事務局から何か連絡はありますか。

特によろしいですか。

それでは、本日の小委員会は、これにて閉会ということにさせていただきたいと思いません。

皆様、御足労いただきまして、ありがとうございました。

引き続き御支援のほど、よろしくお願い申し上げます。